

すべてのことから いのちの方から考えてみよう!!

<講演会>

～ガレキ広域処理の本質的問題～

「絶対に起こらないはずの原発事故を起して、子どもたちや未来世代が生きて行く環境を放射能で汚染してしまった私たち大人世代は、今、自分たち自身のことよりも、子どもたちの未来をゆいゆいも明るいものにおぼろげにできるだけの努力をしようと思います。」

とき 6月15日(金) 10:00-12:00
 ばいばい 市民ふれあい交流センター
 講師 池田こみちさん

参加費 無料

お申し込み 託見 あります
 ひとり 200円

要予約 1ヶ月以上前

前日までに電話で申し込み下さい。[070-5534-9364] 事務局 奥田

主催 津久見の海と山といのちを守る母の会
 共同代表 古谷久美子 吉良貴代

環境政策・廃棄物問題のスペシャリスト! 池田さんのお話しはスツキ! わかりやすいです!

環境総合研究所 副所長
 聖心女子大学 東京大学理学部
 東京大学医科学研究所、0-2
 フラグ日本事務局などを経て、'86年
 環境専門シンクタンク設立。



質問! 安全? 本当のことを知りたい

6/14(木) 19時から 津久見市民会館 大ホール
 池田さん講演会 主催 大分県教職員組合 白津支部

大分県による説明会とその後...

- 5/27(日) 県主催の住民説明会がありました。
- 5/29(火) 市長突然 県庁で記者会見 試験焼却導入
- 6/1(金) 津久見の海と山といのちを守る母の会 請願書提出 市長へは「要望書」
一度だけの説明会だけでは不十分。お礼にも拙速。
- 6/4(日) 試験焼却白紙撤回
いし、広域処理導入の基本方針は変わらない。
- 6/7(金) 津久見市市長会全区での説明会の開催要望!
- 「放射能に子健康被害もどう考えるのか?」
- 「農業・漁業・セメントへの風評被害の責任は?」 など
16人の質問全てが不安や反対の意見でした。しかし県の説明は「安全なガレキを持ち来たら」と何度も繰り返すばかり。根拠や具体的な返答はなく、封封疑問・不安のつらさ説明会となりました。

6月津久見市議会の傍聴に
 <6/11~28> 行きましょう!!
 ガレキ受け入れの質問を数人の議員が行います
 一般質問は6/18(月)・19(火) です

津久見の海と山といのちを守る母の会ホームページ <http://tsukumi.org/>

活動へのカンパも
 お願いします ☺

カンパの用途
 講演会講師料、交通費
 会場費、チラシ印刷費 など

= 振り込み先 =
 ゆうちょ銀行
 記号 17230 番号 166631
 役人 古谷久美子(海と山といのち)